

Tata Consultancy Services 主催 グローバル・コーディング・コンテスト CodeVitaシーズンⅧ 開催案内



はじめに

タタコンサルタンシーサービシズ(TCS)が主催するグローバル・コーディング・コンテストCodeVitaは、今年で8年目となります。当コンテストは、2012年に*Programming-As-A-Sport*の推進を目的として始まり、以来多くのマイルストーンを重ねてきました。2014年にはインド国外にも対象を広げ、昨シーズンは世界68カ国の学生がオンライン予選に参加し、そのうち25名、7カ国の学生がインドで行われる本選に進出しました。一昨年は日本からも1名が本選に出場し、見事上位入賞を果たしています。今年はより一層チャレンジングで、エキサイティングなシーズンになることを目指しています。皆さんの挑戦をお待ちしています。

目的

技術にどの程度精通しているかということが、わたしたちの人生に大きな影響を及ぼし始めています。高い競争力を維持し、常に変化するデジタル世界に適応するために、コンピュータ言語を学ぶことは賢明な選択です。プログラミングは新しい数学と言ってもよいでしょう。当コンテストの主な目的は、参加者のプログラミングスキルを、実践を通して研ぎ澄ますことにあります。

構成

当コンテストは個人戦です。2度のオンライン予選と本選の3ラウンドで構成されています。さらに、Mockvitaという演習ラウンドも用意されています。

※CodeVitaにエントリーした方は、以下の期間のうち最長6時間MockVitaを利用することができます。
Mock Vita1およびMock Vita2は9月/10月に開催されます。日付は間もなく公開されます。

◇ 1次予選(オンライン)

当コンテストの最初のラウンドです。参加者には6問のプログラミング問題が与えられ、最初の問題をスタートしてから6時間以内に全問題に解答することが求められます。

2019年10月19日(土)午後0時30分～20日(日)午後0時30分(日本時間)

※最初の問題をスタートしてから6時間以内に全ての問題に解答していただきます。

◇ 2次予選(オンライン)

1次予選の成績上位者は2次予選に進んでいただきます。

2019年11月9日(土)午後0時30分～10日(日)午後0時30分(日本時間)

※最初の問題をスタートしてから6時間以内に全ての問題に解答していただきます。

◇ 本選(インド)

2次予選上位 25～30名がインド TCS で開催される本選に招待されます。(2020年2月上旬開催予定)

※旅費及び現地宿泊費は TCS が全て負担します。

賞金:

優勝者には10,000米ドル、2位には7,000米ドル、3位には3,000米ドルが送られます。

エントリー資格

大学院・大学・高等専門学校に在籍し、理学系/工学系の学科を専攻する学生(全学年対象)

エントリー方法

・ www.tccodevita.com のRegistration Formに必要事項を入力しエントリーしてください。

・ **エントリー締切は、2019年10月17日(日)午後0時30分(日本時間)です。**

当コンテストは世界中の大学生・大学院生を対象としています。エントリーしたすべての学生がオンライン予選に参加できます。本選への進出が決まった参加者は、エントリー時に入力した学術機関に学生として所属していることを証明するため、TCSからの指示に従って以下のいずれかの証明書を提出していただきます。

- ・ 大学IDカード または 在学証明書

一般的なガイドライン

・コードのコンパイルや解釈に必要なインフラストラクチャ/ソフトウェアは、個人または個人が代表する学術機関が負担するものとします。TCSは、参加者によって引き起こされる学術機関のインフラストラクチャに対するいかなる損害についても責任を負いません

・言語コンパイラ/インタプリタは、インターネットからダウンロード可能なオープンソース・アプリケーションです。参加者には問題毎にソースコードを提出していただきます。(例: Java で書かれたコードは拡張子.java で提出)

・当コンテストは8つの言語に対応しています。

言語名と対応コンパイラ/インタプリタのバージョンは、以下の表の通りです。

対応言語	バージョン
C	gcc 5.3.1
C++	g++ 5.3.1
C#	mono 5.20.1.19
Java	Oracle JDK 1.8
Perl	5.16
PHP	5.4.16
Python	Python 2.7.5, Python 3.6
Ruby	2.4.1

補償

参加者は、以下により生じる一切の損害、損失、および費用について、TCS(タタコンサルタンシーサービシズ)を完全に補償し、免責するものとします。

- ・ 参加者が当コンテストの同意書に違反した場合。
- ・ 参加者の提出したソースコードが、第三者の権利及び知的財産権を侵害していると賠償請求があった場合。